令和7年（第56回）

高野山一泊研修の思い出！　（堺労働基準協会）










集合研修風景



お寺さんのお話し




高野山は平安時代のはじめに弘法大師・空海が開いた真言密教の道場です。
標高約800mの山上に盆地状の平地があり、そこに宗教都市が築かれて今に至るのですが、
実は高野山という名の山はありません。　高野山とは山上盆地の地名です。

令和7年（第56回） 高野山研修写真集 （開催日：R7.8.26～27）

オープニング

全体風景



総合司会

行久安全副部会長（山九㈱）



開会のご挨拶

藤原安全部会長（㈱クボタ堺製造所）



講演会

演題 ： 熱中症予防と対策について

講師紹介：大塚ウエルネスベンディング㈱　高丸成樹様



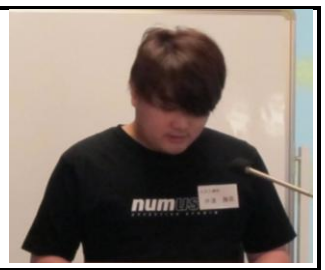


２班

テーマ：安全人間づくり（ルールを守る、守らせるには）



研修結果報告



アドバイザーコメント



メンバー紹介

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	坂田　浩	ＵＢＥ㈱堺工場
ﾘｰﾀﾞｰ	前田　健一	三菱マテリアル㈱
書記	黒田　和也	日鉄テックスエンジ㈱
発表者	井邊　勝晃	丸和工業㈱
	ｸﾞｴﾝﾀﾝﾄﾞ	丸和工業㈱
	新留　龍司	日本製鉄㈱ 関西製鉄所
	山口　弘	堺化学工業㈱ 堺事業所

３－①班

テーマ：ヒューマンエラー防止対策（KYK,ヒヤリハット等）



研修結果報告



アドバイザーコメント



メンバー紹介

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	山田 貴史	㈱クボタ　堺製造所
ﾘｰﾀﾞｰ	宮部　裕樹	㈱ニッカトー
書記	放生会　智	日本製鉄㈱ 関西製鉄所
発表者	畑嵜 大紀	㈱十川ゴム堺工場
	枝光　智宏	㈱栗本鐵工所
	山本　和樹	堺化学工業㈱ 堺事業所
	福田　佑貴	日鉄テックスエンジ㈱

3 －②班　テーマ：ヒューマンエラー防止対策（KYK,ヒヤリハット等）



研修結果報告



アドバイザーコメント



メンバー紹介

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	本田 浩章	エア・ウォーター㈱
ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	重冨　徹	Daigasｶﾞｽｱﾝﾄﾞﾊﾟﾜｰｿﾘｭｰｼｮﾝ㈱
ﾘｰﾀﾞｰ	松本　義広	堺化学工業㈱ 堺事業所
書記	安藝　貴紀	堺アルミ㈱
発表者	清水　大輔	浅香工業㈱
	藤井　直也	山九㈱　関西支店
	北西　裕士	日本ノボパン工業㈱
	瓜生　友樹	日本製鉄㈱ 関西製鉄所

4 班　テーマ：効果的な教育訓練



研修結果報告



アドバイザーコメント



メンバー紹介

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	橋本　佐利	日鉄鋼板㈱ﾊﾟﾈﾙ建材製造所
ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	髙橋　肇	日本製鉄㈱ 関西製鉄所
ﾘｰﾀﾞｰ	中田　裕也	㈱クボタ　堺製造所
書記	山下　圭	堺化学工業㈱ 堺事業所
発表者	佐野　力哉	山九㈱　関西支店
	矢野　統久	日本製鉄㈱ 関西製鉄所
	眞島　優太	三菱マテリアル㈱
	松波　優	㈱ニッカトー

6 班　テーマ：挟まれ巻込れ災害防止対策



研修結果報告



アドバイザーコメント



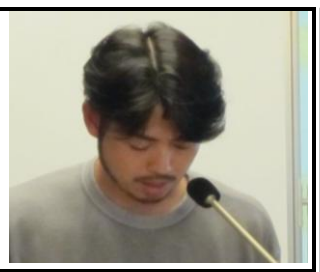
メンバー紹介

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	西山　和英	朝日鋳工㈱
ﾘｰﾀﾞｰ	道本　佳央	㈱横河ブリッジ
書記1	和田　拓也	三菱マテリアル㈱
書記2	廣本　勇太	日本酢ビ・ポバール㈱
発表者	山田　孝司	日本ノボパン工業㈱
	岩﨑　弘一	㈱十川ゴム 堺工場
	岡　耕平	㈱栗本鐵工所
	直井　伸文	堺アルミ㈱

7 班　テーマ：フォークリフト災害防止対策



研修結果報告



アドバイザーコメント



メンバー紹介

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	藤田　耕司	㈱栗本鐵工所
ﾘｰﾀﾞｰ	荻野　和弘	堺化学工業㈱ 堺事業所
書記	榎本　大輔	日鉄鋼板㈱ﾊﾟﾈﾙ建材製造所
発表者	鳥井　俊也	㈱横河ブリッジ
	山口　宗吾	丸和工業㈱
	中尾　蓮	山九㈱　関西支店
（欠席）	折居　広教	㈱クボタ　堺臨海工場

８班　テーマ：熱中症予防対策



研修結果報告



アドバイザーコメント



メンバー紹介

ｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ	安部　正春	堺化学工業㈱ 堺事業所
ﾘｰﾀﾞｰ	下川　祥平	日本製鉄㈱ 関西製鉄所
書記	坂本　健	堺化学工業㈱ 堺事業所
発表者	津本　豊和	堺アルミ㈱
	橋本　慎一	日鉄鋼板㈱ ﾊﾟﾈﾙ建材製造所
	梶原　辰徳	㈱クボタ　堺臨海工場
	宮澤　大海	堺化学工業㈱ 堺事業所

2日目

ご 挨 拶

堺労働基準協会　深田会長ご挨拶



堺労働基準監督署　井手署長ご挨拶



堺労働基準監督署のお話し

堺労働基準監督署
森本地方労働衛生専門官



各分科会報告後のご講評

堺労働基準監督署
菊池安全衛生課長



閉会ご挨拶

桑原衛生部会長
（㈱シマノ）



指差唱和

坂田　浩（ＵＢＥ㈱）
新留　龍司（日本製鉄㈱）



堺労働基準監督署　菊池安全衛生課長　総括講評

高野山一泊研修に参加者された皆様お疲れ様でした。
職場を離れ、他の事業場の方々と一つのテーマに沿った討論をすると言う機会は、参加の皆様にとって貴重な経験になったのではないでしょうか。今回、各班の討議した結果の発表を聞かせていただき、各班で様々な研修テーマを取り扱い、細かい問題点や改善点が挙がっている中で、共通していたキーワードが「コミュニケーション」です。

労働災害を防止するためには、機械の本質安全化を図ることが一番です。しかし、機械の本質安全化はコスト面でも難しく、安全措置を講じているものの、安全教育の実施や作業手順の遵守により、安全を確保して作業等を行っているケースが多いと思います。そのため、作業等のルールを理解し、決められた方法で作業を行わせることが重要となりますが、教育等を行う場合、職場内でのコミュニケーションがしっかり取れていると教育効果が高くなり、色々な意見などが出やすいのではないでしょうか。

今回の高野山一泊研修で感じたことを一言
「職場の安全の第一歩はコミュニケーションから」　　ご安全に!!

本部関係者



